



NPO日本朗読文化協会

# 朗読ニュース

2010年初冬号

2010.8.15 「声に出す平和への祈り」より



献読



ゲスト：乾宣太郎

## ○ 新理事のごあいさつ

私は、六月の総会で理事に選任されました。果たしてこの大役が全う出来るかと思っております。然し、微力ながら協会の為に一生懸命努力したい所存でございます。

私は 66 歳で朗読に魅力を感じ、協会に入会しました。3年間運営委員を経て、現在運営委員長をやっております。主に協会の事業関係のお手伝いをさせて頂いております。

現在協会員 140 数人を数えていますが、この会員数が増加する事を望んでいます。

最近、朗読を楽しむ人が、年々増加傾向にあるのは、ご存知の事と思います。その方々が、もっと多くの場所で朗読する機会を創出するのが協会の使命ではないかと思っています。毎年 1 回の博品館、年末の朗読アラカルト、八重洲ブックセンターでの発表会、またその他のボランティア活動では、人数制限もあり、会員皆様の朗読力を発揮する場がない様に思われます。新しい発表の場の創造、朗読を聞きたい人達へのボランティア活動等を目標にして頑張っていきたいと思っています。そして、協会員の皆様方が、協会のより良い発展に奮って参加して下さる雰囲気作りに努力して参ります。



阿部 義高

草苺さんに「僕も朗読したいな」とつぶやいたのが事の始まり。教室は「女の園」。たじろいだのですが壤さんの「朱雀門」「勸進帳」にグイ！と心の臓を掴まれました。4 年経ち、朗読と格闘しています。

子供の頃から身の程しらずで、夢だけはいっぱい、色んなものになりたかった。なろうと思ったのは、どこにも飛んで行ける「孫悟空、ピーターパン」、パンツ姿でも強い「ターザン、力道山」、正義の味方「明智小五郎、ロビン・フッド」、名前が格好いい「酒吞童子、自雷也」等々です。

結局、どれにもなれなかったのですが、それがどうした！です。朗読のお蔭で一時とはいえ“変身”出来ちゃった！からです。弁慶。富樫。高野山の旅僧。明智小五郎。怪人二十面相。色男丹次郎。酒色に溺れる正太郎。ヒーローの高師直。女を襲う雲助。恋に身を焼くお長、おかる。怨霊、鬼女も。壤さんの「朗読の時は、物語の中の人物として生きよ！」を心がけました。

雲助、正太郎、師直(どれもワル)の時に凄い達成感！があり、自分の“本性に出会った”ようでちょっと複雑・・でしたが。

出会ったと言えば、朗読は皆さんとの出会いになり、日本語の美しさ、豊かさの再発見にもなりました。僕の“本性”にひるまず、皆さん！よろしくお願ひします！



茂木 英治

## ○ 朗読ボランティアグループ <かもめ>のこえ その I

かもめのメンバーが常日頃、様々な活動の中で<かもめ>についてどう思っているのか一人一人の思いを直接、また電話や FAX で伺いました。今号は朗読訪問について

### ◆朗読訪問全般について

- ・朗読訪問の内容が見守りボランティアの部分が増えつつある。いわゆる<朗読訪問>はせせらぎやお台場のような通所施設でないと難しい。
- ・手遊びなどが多くなり朗読を基本にしたい自分の思いと変わってきている。
- ・奥沢朗読会のような朗読を聴いてもらえる訪問先が他にもあると良い。
- ・訪問者は必ず名札をつける。入所者の名前を出来るだけ覚え、名前を掛けると何気ない会話に笑顔がこぼれ、信頼関係が生まれる。
- ・参加の皆さんとは公平に接する。どこの施設でも共通と思うが、個人的に親しくしてはいけないと言ったことを知った。
- ・最後に各テーブルを回りなるべく皆さんとお話し、お礼を言って帰る
- ・参加型の何をしたらよいか分からず、二の足を踏んでしまう。いっぱい経験を積みたい。

### ◆朗読訪問の喜び悲しみ困った事

- ・2004年初めてかもめが訪問朗読に出かけた時からの入所者が、今もお元気で朗読を楽しみに待っていて下さるのが何とも嬉しい。
- ・声出しはとても大切。下を向いていた方がだんだんに歌い始めたりすると嬉しくなる。
- ・無関心を装っていた方が突然質問してきて驚いた。表面だけで判断してはいけないと肝に銘じた。
- ・お台場では朗読後昼食を一緒に頂きながら人生の先輩達の(80代、90代)お話を伺え、良いコミュニケーションが出来る。それが楽しみ。
- ・何時もしゃべらない方がしゃべってくれた時嬉しい。
- ・朗読の時は眠っているのに最後の懐かしの歌の時、歌い出し、嬉しかった。音楽の力を感じた。
- ・読んでほしいと要望していたような作品を読んで貰えたと入居者が喜んでいる。
- ・人により状態が異なる。そばに寄るだけでノーの方も居る。
- ・ヒルデモア朗読会で長崎の鐘を歌ったとき、日頃無表情な人が涙をボロボロこぼして大きな声で歌って下さり、私達は勿論のことスタッフの方もびっくりした。
- ・間隔を置いて何うと老化のスピードの速い方がいて自分も含めての様々なことを考えてしまう。
- ・居住型の場合手応えが余りなく、帰り道虚しい思いで帰る事が多い。
- ・何時も参加なさる方が見えなくなり気になっていた所、ご他界されたスタッフに伺った。悲しいお別れがある。

## ○ 声に出す平和への祈り



### 港区平和都市宣言記念朗読会 「声に出す平和への祈り」

宮内 佳代子

今年も又猛暑の中8月15日に港区区民センターホールにて朗読会が開催されました。

終戦から今年で65年にあたり、今回は厳かに鎮魂を願う会にしたいと港区側と話し合いを進めてまいりました。

戦争の体験談をお願いしたくまず区内で体験者をあたりましたが見つからず、結局港区に本部のある東京都原爆者団体協議会から長崎で被爆された木場耕平様77歳の方に決まりました。終戦から数えると皆様高齢となり、年々貴重なお話を伺える機会が持てなくなることを実感しました。

又今年も青山中学の生徒達13人が朗読で参加して、平和へのメッセージを未来に向けて声に出してくださいました。このことで多くの若い人達が平和の大切さと命の尊さを知って貰うことができれば、「声に出す平和への祈り」朗読会の意義は大きいと思いました。

体験談、朗読、コーラス、献読の構成でしたが、ギター演奏で「埴生の宿」を入れながら朗読された乾 宣太郎様の「ビルマの豎琴」は心に染み入るものがありました。そして、今回の出演を快く受けてくださいました、女性合唱団「グリーン・フラッシュ」の皆様本当に素敵な歌声をありがとうございました。

来年も朗読協会の大切なイベントとして有意義な朗読会開催を願い、そしていつも周りから支えてくださいます協会員の皆様に心からお礼を申し上げます。

### 「ビルマの豎琴」朗読

乾 宣太郎

私は、ビルマの豎琴、二十四の瞳、禁じられた遊びに涙を流した世代です。いろんな音を持ち寄って楽しく有意義な時間を過ごそうということを目的とした多摩の音遊会で、日本朗読文化協会の方々とお会いしました。そのご縁で「平和への祈り」にお誘いをうけ、つたない演奏で心配でしたが、貴重な体験になりました。たくさんの方々にお会いでき、友達の輪も広がりました。このような貴重な機会をいただき心から感謝しております。



### 「言魂（ことだま）の力」

中館 伸一 グリーンフラッシュ（指揮者）

出演の皆様素晴らしいパフォーマンスに、会場の空気が祈りに包まれ、我々も心からの祈りの歌を歌う事が出来ました。正に言魂（ことだま）の力が会場を包んでいたように感じました。

朗読&合唱、今回のようなコラボレーションがこれから日本の文化を豊かにしていくのではないのでしょうか。このような輪が様々な分野に広がっていくことを願います。



# 「被爆ピアノ」で広がる輪

2007年8月NPO日本朗読文化協会、港区共催で行われた「被爆ピアノの朗読コンサート」あれから4年……。今年も東京、土浦、秋田、大館、ニューヨーク、新庄と回り多くの方に平和の尊さを訴えています。



2007.8.15「声に出す平和への祈り」



被爆ピアノ

The collage consists of four posters:

- Top Left:** "港区平和都市宣言記念朗読会 「声に出す平和への祈り」 -被爆ピアノとともに-" (Kohjiwa Peace City Declaration Memorial Reading Event "Voice of Prayer for Peace" -with Bombed Piano together-). Date: 2007.8.15. Location: Kohjiwa Community Center. Organized by NPO Japan Reading Culture Association.
- Top Right:** "再び2010東京 未来への伝言 平和の旋律ピアノで、三味線で" (Again 2010 Tokyo Message to the Future). Date: 2010.8.7. Location: Culture Center Hall. Organized by NPO Japan Reading Culture Association.
- Bottom Left:** "被爆ピアノの朗読コンサート" (Bombed Piano Reading Concert). Date: 2010.9.10. Location: Aomori Aomori Cultural Center. Organized by NPO Japan Reading Culture Association.
- Bottom Right:** "被爆ピアノ朗読コンサート ~平和の祈り 響け新庄へ~" (Bombed Piano Reading Concert ~Prayer for Peace Resounds to Niigata City~). Date: 2010.11.22. Location: Niigata City Civic Plaza. Organized by NPO Japan Reading Culture Association.

2007年NPO日本朗読文化協会の「平和の祈り」において、ライフワークである被爆ピアノのコンサートを取り上げていただいてから4年、草の根のように、このコンサートが続けていますが、多くのアーティストのみなさんから協力をいただき、その輪が静かに広がっています。

2008年「未来への伝言」として、人間国宝の杵屋巳太郎さんやピアノの谷川賢作さん、歌手のおおたか静流さんが出演して下さった時のことです。高校生も加わって、谷川俊太郎作詞、杵屋巳太郎作曲の「原爆を裁く」という戦争への怒り、警句が深く込められた曲が40年ぶりに再演となりました。世代やジャンルを超えて、平和への祈りを込めたこの会に、協会の会員である秋田の安倍眞壽美さんが、はるばる足を運んでくれました。終演後「秋田では是非このコンサートを開催したい」と熱い希望をいただきました。遠い地での開催は、費用も時間も要します。しかし、安倍さんや同じく秋田の塩田睦子さんが中心になり実行委員会が立ち上がり、その実行力と人脈の広さで秋田での会を成功裏に導いてくれました。チラシ作りから記者会見など、私も秋田へと向かい、広報、構成まで一緒に作り上げていく感動を共にしました。



## 被爆ピアノが秋田にやってきた

今年 8 月、秋田の 2 会場で「被爆ピアノ朗読コンサート」が開かれました。ピアノは 65 年前、広島



の爆心地からわずか 1.8 キロの民家で被爆したミサコさん所有のもので、調律師矢川光則さんの手で修復され再び音がよみがえりました。また松谷みよ子さんによって「ミサコの被爆ピアノ」という絵本が誕生し、この絵本の朗読を日本朗読文化協会の飯島晶子さんが担当して「被爆ピアノ朗読コンサート」は始まりました。秋田でのコンサートは飯島さんの声かけで実現したものです。

舞台にはガラス片で傷ついたピアノが置かれ、谷川賢作さんのピアノにのせて「ミサコ被爆ピアノ」の朗読が始まると、客席は被爆ピアノの物語に静かに耳を傾けます。おおかみ静流さんの歌、人間国宝杵屋巳太郎さんの三味線が、秋田のゴスペルグループや高校生のハンドベル、小中学校の合唱部との共演で大きく盛り上がりました。また、終戦前夜の悲劇、秋田市の土崎空襲を描いた絵本「はまなすはみた」も、被爆ピアノの音と共に語られ、会場は平和への思いをひとつにしました。

ところで、私たちがコンサートに向けて悪戦苦闘していたある日、一人の小学生から手紙が届きました。秋田

市の小学校 4 年生の佐藤優奈ちゃんは、絵本でミサコさんの被爆ピアノに出会い、戦争や原爆の怖しさを知り平和への願いを強く抱きました。その思いが「きぼうの赤い花—平和を願って—」という曲になり、全日本ジュニア音楽コンクールで特別賞を受賞していたのです。秋田に被爆ピアノが来ることをしった優奈ちゃんは、ミサコさんのピアノでこの曲を弾きたいという夢を手紙に託しました。想定外の嬉しい出来事に、私たちは喜んで優奈ちゃんをむかえることにしました。

赤いドレス姿で力強く曲を披露した優奈ちゃんは、クラスの友だちや近所の人たちと折った千羽鶴を矢川さんに贈り、会場は温かい拍手に包まれました。



戦後生まれの矢川さんと私は、被爆者を父に持つ被爆二世ですが、既に父は在りません。被爆体験者、戦争体験者が少なくなるなかで、戦後世代が平和を願い行動を起こすことが、永遠の平和を守ることにつながるのだということを確認したコンサートでした。

猛暑、酷暑の夏は、私にとっても熱い、熱い夏でした。

(安倍 眞壽美)



## 被爆ピアノニューヨークへ

9 月ニューヨークでハドソン川無差別テロ追悼灯籠流し、NY 本願寺、国連チャーチセンターなどでコンサートを行いました。出演は各国の宗教者、NY 在住の大江千里さん、オペラの柴田智子さん、パークレイの学生、NY の小学生・アーティスト達。飯島晶子も朗読で参加。灯籠流しでは千人近くの人が被爆ピアノの響きに耳を傾けてくれました。

公演の際には、博品館で一緒にいるスチュワット・バーナム・アトキンさんが被爆ピアノの詩の英訳を、また 2007 年にご一緒に朗読した会員の菊地宏さんが山形県新庄市に働きかけてくださり、11 月 22 日市立日新小学校と新庄市民プラザでの公演が実現しました。また演出の飯田さんも毎回お力をお貸しくださっています。

「朗読」で声に出してみたからこそ、戦争や平和を見つめ、また協会の皆さんとの繋がりのなかで一緒に創作する喜びをかみしめることができ、本当に感謝の一言です。

(飯島 晶子)



読売新聞 9月11日



KYODO NEWS September 22, 2010 より  
'Hibaku' piano peace concert along Hudson River in New York'

## 飯島 晶子 朗読教室

～心に響く作品を声に託して～

【講座】月1回土曜日(第3または第4)  
前半コース 13:00～  
後半コース 14:30～  
【今期の在籍者】20名



◆先生が明るく授業が楽しい。お人柄でしょうね。魅力的です。ほめて育ててくださるというのでしょうか。◆このクラスは同じテキストを使うのではなくそれぞれが好きなのを持参します。用意できなかった方には「こんなのどうかしら」とご用意された中からあいそなものをご覧ください。読んだことのないものまで聞く事ができてとても勉強になります。◆授業は終始和やかで「そうね、それもいいわね」「でもこう読むのはどうかしら」と生徒が読むのをダメとおっしゃらずアドバイスくださる。◆励ましあったり、笑ったり知らないうちにうまくなるというわけです。科白(俳優のしぐさとセリフ)を一人でうまく出来ないときは、みんなで役割を決めて分担します。するととても分かりやすくなり、そのあと一人でも上手にできるようになります。◆中三のお子さんのお母さまより。朗読の好きな子供がもっと表現力を身に着けたいと希望したので色々探してどり着いたのが飯島先生のところでした。とても満足しております。学校行事と重なったりお休みもありますが、チケット制なので助かります。この21日には予選を勝ち抜いて弁論の全国大会に出場します。◆飯島クラスは幅広い年齢で楽しくそれぞれの方たちが、楽しんで朗読を勉強しております。

## 熊澤 南水 朗読教室

～樋口一葉の名文を読む～

【講座】月1回第4金曜日  
午前クラス: 10:00～12:00  
午後クラス: 13:30～15:30  
【今期の在籍者】20名



◆一葉を学ぶには南水先生と思っていた。現在活躍されているエネルギーを身をもって私達に感じさせて下さる。一人語りのプロの朗読者として、生徒が発表する機会に役立つ事を教えてくださるので刺激になる。学んでるうち一葉が好きになってきている。◆一葉と作品の中の人物との重なりを意識しつつ、何故こういう事を書いたのかなど人物の心情、背景を分析してきめ細やかに指導して下さる。◆褒めながら育てるタイプの先生でテキストは終わりまで通し読みし、繰り返すことで読みを深くして行く。一人一人丁寧に、平等に時間を取りポイントを得た指導をして下さる。勉強して行くとか分かってくださる。これからも指導を受けるのが楽しみ。◆生徒のことを考えて、博品館や他での朗読会も見に来て下さったり、応援のメッセージを送って下さったり、生徒の為になることは労を惜みまず努力して下さる。先生をこえて人間として素晴らしい、その心遣いは学ばねばと思う。◆一人語りは、良いことも悪いことも全て自分で責任をとらないといけなと思うので一人語りの先生に受講したかった。想像以上で嬉しい。◆南水先生ご自身の生き方そのままのご指導。一葉ワールドへの誘いに無理が無く、時間を忘れ、自然体で学べる教室です。

## 河崎 早春 朗読教室

～イメージを言葉にのせて～

【講座】月1回第1木曜日(原則)  
10:00～13:00  
【今期の在籍者】11名



◆言葉が心、身体から出ているのに全く気づかないで、朗読は声だけで表現すると思っていたが、身体を使ってイメージをふくらませて表現すると言うことが解り、今まで学んできた事と切り口が違って新鮮で大事にしたい講座です。また先生を囲んでのアフタークラスも楽しんでます。◆一人一人、初級者にも上級者にも丁寧に平等に対応し、読み手の感覚で適切に表現するよう何度も指導して下さる。また各個人の長所短所をみて、声色に頼らず文意を読み手の身体に染み込ませて表現するように指導し、その部分を先生ご自身が読んで違いを教えて下さる。◆現役の俳優なので、文章の内容のみならずイメージをどう膨らませるか、また文章を掘り下げ、生徒の個性と作品に合わせて表現の多様性を教えて下さるので、感じ方や、表現が変わるように思う。◆テキストは自分の好きな物を持って行き、皆の前で指導していただく。準備できない場合、先生が教材を用意して下さる。現在9人で2時間半の授業で、一人一人違う作品なのでいろいろな作品に出会い、知る喜びがあり、聴いて楽しい。生徒が読んだ後、指導されるのを聴いているとその人の読みが変化して行くのが解り、納得出来るのが楽しい。この教室に入って、未熟ではあるけど読み方が自分のものになってきたと感じている。

## 児玉 朗 朗読教室

～朗読は楽しい～

【講座】月2回第2・第4金曜日  
13:30～16:30  
【今期の在籍者】5名



◆呼吸・発声練習が念入りで、身体ほぐしも行います。独特の呼吸法・発声法は是非体験していただきたい。◆4月からの前半期は、先生持参のテキストで学び、10月～3月の後半期は2011年3月26日の発表会に向けて皆で作品を決め、係を決め、企画運営まで実践的に学んでいる。全員で茨木のり子さんのものを発表する。個人の技術を磨くだけでなく協力して作り上げることで様々なことに気づき新しい自分を発見できたりする面白さがある。◆詩の場合、文字に直接書かれてないことを読みとることによって新鮮な感じを持ち、表現が深まる。稽古の中で、こんなことも経験している。詩や詩人にまつわる背景やエピソードを知ると、作品のイメージが具体的にになり、朗読がますます楽しくなる。◆立体的な表現になる為に作者のエピソード、背景など説明して下さるのでイメージしやすく、分かりやすい。◆時にはジョークも飛び、楽しく和やかな教室。先生の朗読活動以前のことや経験談などを伺うと、これから朗読をやるうとする者としては、新鮮な思いで、将来へのイメージが膨らむ。

## 楽しい朗読実践講座 神田外語大学 児玉 朗

前は、朗読者自身の極めて日常的な心づもりや心がけ、または生活の態度・習慣が、"楽しい朗読" 実現につながる一番の基となるという観点に立って、"言語感覚を磨く" "台本を大切に使う" "自分に合った呼吸法 (= 発声法) を身につける" という3つのポイントについて書きました。今回は、より"朗読" に特化した課題として、"朗読のテキストとしては何を選ぶべきか" をとりあげたいと思います。

### 楽しい朗読実践講座(2)一初級・中級篇一

#### 身近なテーマを身近なテキストから

朗読のテキストとは文字で表現された本文とその内容のことです。適切な発音とアクセントとイントネーションで声にのせれば、どんなテキストもそれなりの音読になります。しかし、朗読でいちばん大事なことは、言葉を声にのせながら、言葉をこえて何かを伝えることです。それは、美しさや醜さ、喜びや悲しみ、驚きや恐れや怒り、強さや弱さ、正義や不正などに対する、朗読者自身の本心から発するリアクションです。そのためにテキストは存在するのです。

周囲を見まわせば、自分の家族や友人のこと、職場や地域や社会のこと、世界のこと、希望と絶望、失意と勇気、豊かさや貧しさ、病気と健康、生と死、戦争と平和、愛と憎しみ等々、自分の日々の生活と直接・間接に関わりのあることばかり、思わず発言したくなるのがいくつもあります。これらすべてが朗読のテーマになります。

テキストには、必ず、いつ・どこで・誰または何かが・何かのために・誰または何かを・どうする、あるいは、どうなる、等の"様相の変化・展開" が、具体的に場合によっては暗示的に示されています。朗読者は、この"様相の変化・展開" に応じてわき起こる心の中のリアクションをコントロールしながら、声に出して読むわけです。

朗読のためには、小説や随筆や詩のほか、新聞・雑誌の記事、ドキュメンタリー、日記、書簡、シナリオ・戯曲など、実に多様なテキストがあります。しかし、実習用のテキストとしては、日頃から読みなれた文体のものが最適だと思います。愛読している作家やシリーズの中から気に入った箇所を声に出して読んでみるのです。新聞・雑誌等のコラムや随筆や投書欄も、文章が平易なので気軽に取り組みます。児童文学の中にも大人にとってこそ大事な作品が沢山あります。また、最近、親子・恋人・夫婦等の中で交わされた手紙で編集した本も数多く出版されています。喜怒哀楽・心に響くものを自由に選んで朗読してみるのも楽しい作業です。逆に、いわゆる名作の朗読にはいろいろな困難な課題が伴います。とかく名作の朗読は、後追いの二番煎じの朗読におちいりやすいからです。

"楽しい朗読" とは、読む人と同時に聴く人にとっても、なにかの新しい視点または発見や可能性があってこそ実現するものだと考えます。

## お知らせ

### 第5回朗読コンクール

日時：本選 2011年2月6日(日)  
開演 10:30~17:00  
会場：港区立赤坂区民センターホール  
入場無料

### 八重洲朗読会

日時：2011年2月26日(土)  
16:00~17:30  
会場：八重洲ブックセンター 本店8Fギャラリー  
入場無料

### かもめ朗読会

日時：2011年2月26日(土)  
14:00~  
会場：港区立高輪区民センターホール  
入場無料

### 会員情報

●2010年8月~11月に入会されたのは以下の方々です。  
青木ひろこ、秋山悦子、天野明子、菊地崇之、滝本忠生、千野文彦(学生会員)、轟由美子、見澤淑恵、水戸井珠理(学生会員)、山本恵美子、山元智子(合計11名) 敬称略・50音順

●訃報：会員の行田夏枝様は10月28日ご逝去されました。朗読ボランティア活動に多大な貢献をされました。謹んでご冥福をお祈りします。

### 編集後記

●講座紹介とかもめの取材を通じて皆さんのさまざまな考え方に触れることができました。とても有意義な時間でした。(佐々木富紀)

●昨年、今年と2年続けて「被爆ピアノのコンサート」を聞ききました。体の芯から平和の大切さを感じることが出来る不思議なコンサートです。2007年8月15日から続いているこのコンサート、会員の皆様には是非知って、そして聞いて頂きたい特集を組みました。皆さんの近くでも企画なさいませんか? ご意見感想、協会へのご質問その他何でもどうぞ! (早川とし子)

朗読ニュース 2010年初冬号(通巻24号) 発行日 2010年12月10日  
発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ  
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-8-8 赤坂フローラルプラザビル 3F  
TEL: 03-3584-4451 FAX: 03-3584-4452  
e-mail: npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

# 瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



## 源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔 KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲 KICG15071
- ◆ 若紫(上・下) KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴 KICG15073
- ◆ 葵(上・下) KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下) KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル 定価・各2,000円(税込)



## 源氏物語

瀬戸内寂聴訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- (Disc 1)
  - ① 桐壺
  - ② 藤壺
  - ③ 空蟬
  - ④ 夕顔
  - ⑤ 若紫
- (Disc 2)
  - ① 末摘花
  - ② 朧月夜
  - ③ 六条の御息所
  - ④ 明石
  - ⑤ 源氏物語の魅力 (お題) 瀬戸内寂聴

好評発売中

KICG-5068~69 CD2枚組 定価3,000円(税込)

【第42回】日本レコード大賞[企画賞]受賞作品!

## 昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル 好評発売中 各定価 ¥2,000(税込)

温かく、優しく迎えてくれる「ふるさと」がいっぱいあります。



【CD全47タイトル】KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵:鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化遺産となっています。このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によって地元の言葉で現地収録しました。大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれていきますことを、心から願っています。

美しいことばと豊かな心

全65タイトル好評発売中!

Roudoku Series

### 朗読CDシリーズ心の本棚

- 【第一弾】 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- 【第二弾】 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- 【第三弾】 日本の詩歌 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- 【第四弾】 名作を聴く CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)
- 【第五弾】 日本人のこころと品格 CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

■詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はおお客様のご負担となります。

フリーダイヤル 0120-340-670 インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)

KING RECORDS

FAX 03-3945-9086 ハガキ 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内キングダイレクトアクセス行

※キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

h/samaTV